

計画地概要

住所：目黒本町五丁目 21-14
面積：244.35 m²

- ・五丁目栄通り商店街に面する角地
- ・周囲を住宅に囲まれている
- ・避難所・公共施設までの距離

向原小学校

…約 400m

向原住区センター

…約 250m



計画地位置図



計画地現況

事業概要

事業の目的

計画地地域の抱える課題

- ・木造住宅が密集している
- ・一時的に避難できる場の整備が必要
- ・まちなかのみどりが少ない
- ・いきものが生息できる場所が少ない
- ・日常的に遊べる公園が不足

- ①防災性の向上
②景観や生物多様性の向上
③生活環境の向上

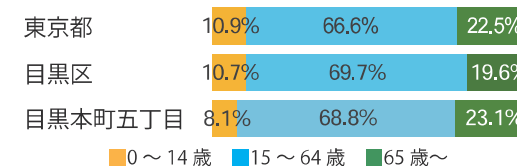
事業のスケジュール



周辺地域の概況

人口

0～14歳が少ないが
高齢化は緩やかな想定



防災

木造住宅密集地域
避難できるオープンスペースが
少ない
水害の危険性は低い

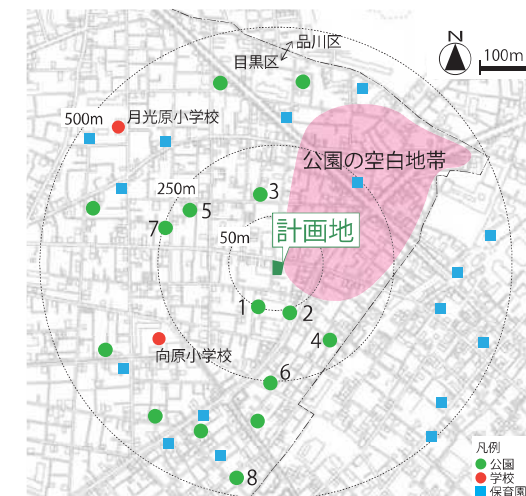


公園

公園が少ないエリア
小規模の公園が多く、
防火水槽など防災設備がある

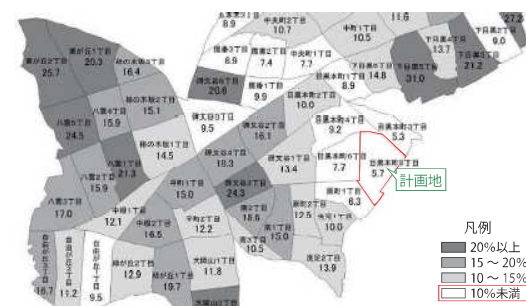
計画地近隣の公園 (名称・面積)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1: 東原児童遊園 | 595.04 m ² |
| 2: 本町五丁目西街かど公園 | 200.50 m ² |
| 3: 本町北公園 | 203.70 m ² |
| 4: 本町みなみ街かど公園 | 257.22 m ² |
| 5: 向原町児童遊園 | 683.30 m ² |
| 6: 金杉原南緑地公園 | 241.72 m ² |
| 7: 向原東みんなの街かど公園 | 507.81 m ² |
| 8: にこまる MINE PARK | 224.74 m ² |



みどりと景観

緑被率が低いエリア
住宅密集地域になっている
地域の特色を活かし、
生物多様性に配慮する必要がある



第一回検討会の内容

全体的な整備方針

防災性の向上

一時避難場所になるスペースや
防火植栽、防災関連施設



緑化と生物多様性の向上

まちや心を豊かにするみどりにあふれ
生きものの生育の場となる環境



安全で快適な公園利用

様々な方が安全安心に、
快適に過ごせる公園

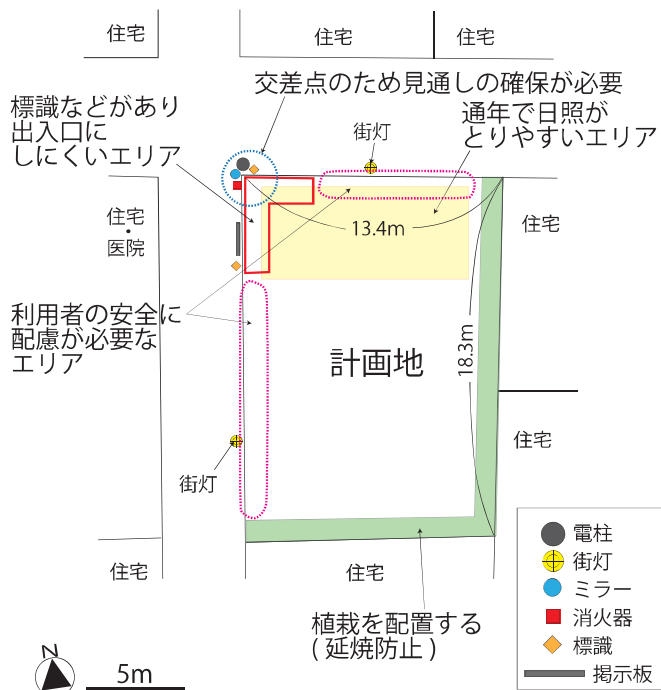


個性のある愛される公園

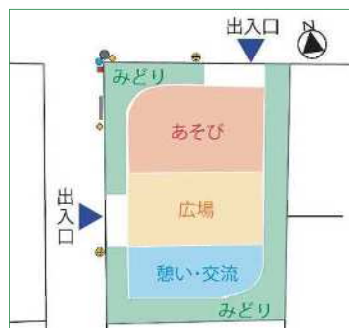
様々な方が利用しやすく
個性や親しみやすさのある公園



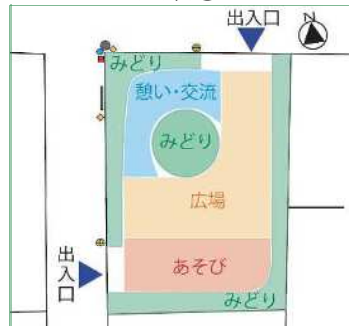
立地条件・課題、ゾーニング案



ゾーニング案①



ゾーニング案②



第一回検討会であげられた意見要望

どのような公園にしたいか

- ・防災に資する公園
- ・他の公園と特徴、機能が重ならない公園
- ・目的別にゾーンのメリハリがある公園
- ・地域のお祭りの中心になる公園
- ・子どもが気兼ねなく使える公園
- ・未就学児のいる世帯も使いやすい公園
- ・安心・安全な公園
- ・見通しがいい公園
- ・防犯に配慮した公園
- ・静かで高齢者が休める公園
- ・広場空間として広く使いたい
- ・遊具が少ないほうがよい

全体的に共通してあげられた
キーワードは
「安全安心」「防災」でした

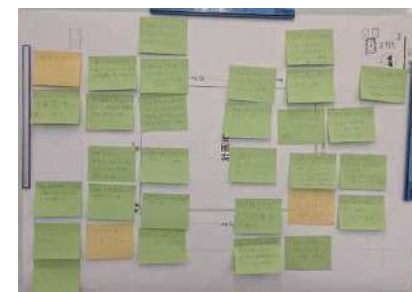


導入してほしい施設

- ・ベンチやパーゴラ、四阿
- ・木陰、日陰
- ・防災倉庫
- ・かまどベンチ
- ・時計
- ・防犯カメラ
- ・近隣住民に配慮した照明
- ・トイレ
- ・水飲み場
- ・対象年齢にあった遊具
- ・子どもが遊べる広場
- ・イベントなどができる広場
- ・飛び出し防止の柵
- ・芝生
- ・水はけのよい舗装
- ・歩きやすい舗装
- ・不法駐輪しにくい入口
- ・車が入れる入口
(取り外せる柵にする)
- ・祭りの提灯を吊るせる設え
- ・虫などがつきにくい植栽
- ・住民用のゴミ回収ボックス
- ・駐輪場
- ・小さい池

その他の意見

- ・野良猫など衛生的な観点から砂場は
設置しないほうがよい
- ・消火栓が近くにあるので防火水槽は
設置しなくてよい
- ・子どもや利用者の声が近隣に響か
ないようにしてほしい
- ・公園の名前はすてきなものにしたい



住民アンケートの整理

アンケート実施概要

方法
インターネット上にて実施
(ニュースレターに二次元コードを記載)

期間
2025年6月12日～2025年6月30日



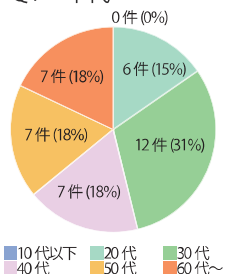
39名の方にご回答
いただきました

質問内容

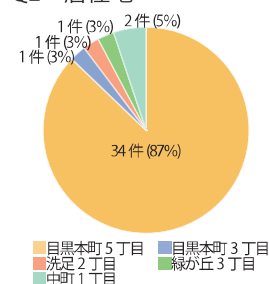
- Q1・年代
Q2・居住地
Q3・計画地で重視したいこと ※5段階評価
①地域の防災性の向上
②みどり・いきもの
③こどもの遊び
④憩いの場
⑤コミュニティ形成(地域行事など)
Q4・計画地にほしい施設 ※複数選択
Q5・だれと利用するか ※複数選択
Q6・何をして過ごすか ※複数選択

アンケート結果

Q1・年代



Q2・居住地

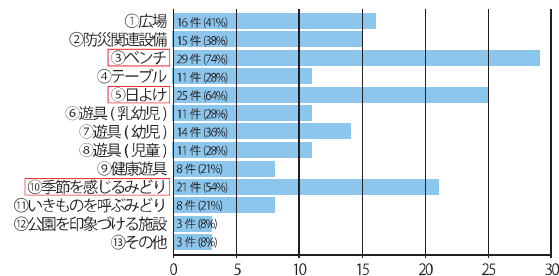


Q3回・計画地で重視したいこと

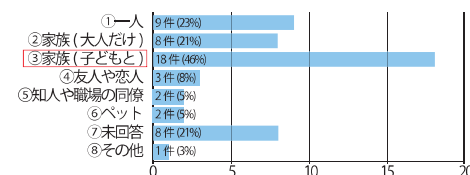
	防災	みどり	遊び	憩い	コミュニティ
20代	2.7	2.2	4.0	4.5	2.2
30代	4.3	3.3	4.0	2.7	2.7
40代	4.0	3.7	4.1	3.4	3.4
50代	4.7	4.0	3.1	3.0	3.4
60代～	3.4	3.0	3.3	3.6	2.7

評価1 (重視しない) ← 評価5 (重視する)

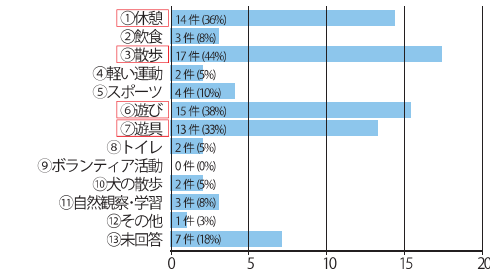
Q4・計画地にほしい施設



Q5・誰と利用するか



Q6・何をして過ごすか



第一回検討会と同じく、
防災に資することや
ベンチ・パーゴラ・日陰などの休憩利用、
年齢にあった遊具などが
求められたほか、新たに
散歩や季節を感じるみどりなどの
要望がありました



第一回検討会・住民アンケートをふまえた方針

検討会とアンケート結果の共通点と相違点

	検討会	アンケート結果
共通点	防災に資する公園 ベンチなど憩いの施設を設置する	
相違点	遊具は少なめにする	遊びの機能を持つ



相違点=相反する要望への対応度別に案を検討

遊びの機能の度合い

プラン① < プラン② < プラン③

ゾーニングの検討

ゾーニングコンセプト

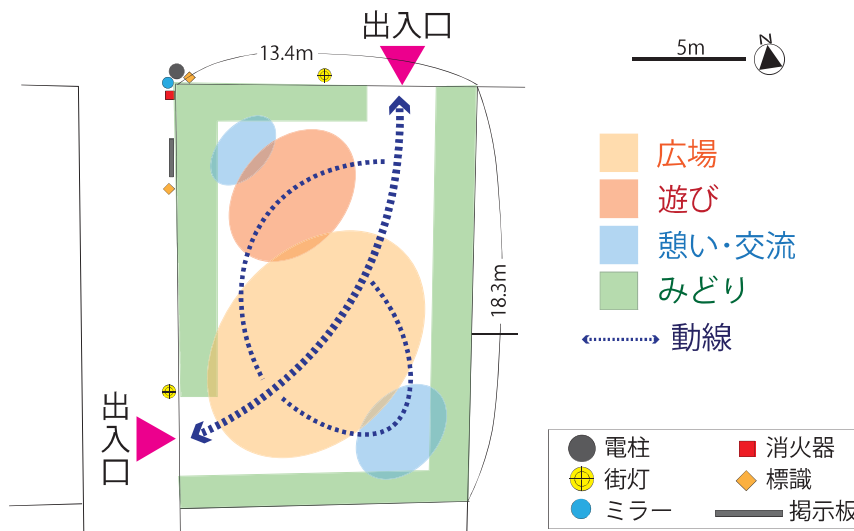
あらゆるひとに寄り添う

落ち着いて休みたい人
おしゃべりしたい人
遊びたい人
様々な人が同じ場所で同じ時間を
過ごせるように、敷地特性や周辺
環境をふまえてゾーニングを計画

ゾーニングのポイント

敷地の特性や周辺環境をふまえて

- ・広場は公園のメインにもなり、動と静の緩衝帯にもなる
- ・子どもがのびのび利用できる
- ・遊び場を見守りながら交流できる
- ・遊びから離れて落ち着いて憩える
- ・シンプルで使い勝手のよい動線



第二回検討会で示した整備案

整備案①

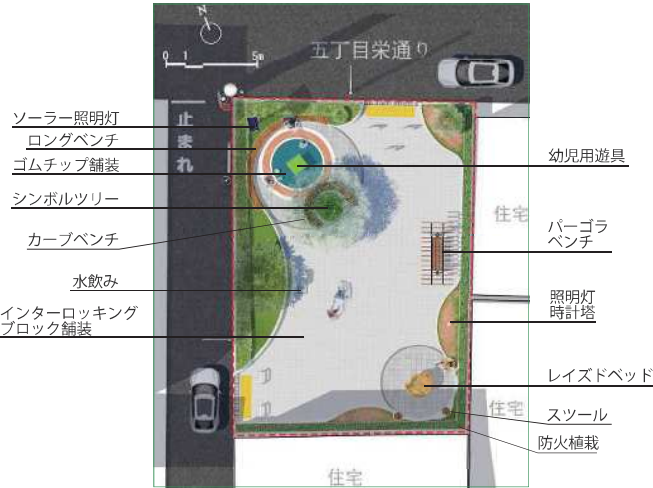
テーマ：穏やかにつながる公園

コンセプト：みんながそれぞれ穏やかに繋がる

- ・あらゆる世代が一緒に公園を楽しみ、交流できる空間
- ・木漏れ日の下、この土地の過去と未来に思いを巡らせる空間
- ・四季折々の草花に囲まれ、静かに憩える空間

計画のポイント

- ・遊びの度合いが小さいプラン
- ・広場や憩いに重きを置いた計画
- ・遊びのエリアは明確に設けず、憩いエリアや広場の一角にごっこ遊びなど想像力を育む遊具を配置する
- ・景観性のよい舗装で種類を統一し、上質な空間を演出する



整備案②

テーマ：自然を身近に遊びくつろぐ公園

コンセプト：遊びと憩い、人と自然が調和する

- ・子どもが遊び、大人がくつろぎ、人々が共に過ごす空間
- ・それぞれの空間をつなぎ、人々が交差する広場
- ・都市の中で自然と人が共存する公園

計画のポイント

- ・遊びの度合いが中間レベルのプラン
- ・コンパクトな遊具を配置した遊びのエリアを設ける
- ・まとまった大きさの広場を確保
- ・直線的なデザインと、自然とを調和させる意匠
- ・広場はインターロッキング舗装など歩きやすい舗装を使用
- ・自然石舗装を部分的に採用し、ナチュラルで落ち着いた憩いのエリアを演出する



整備案③

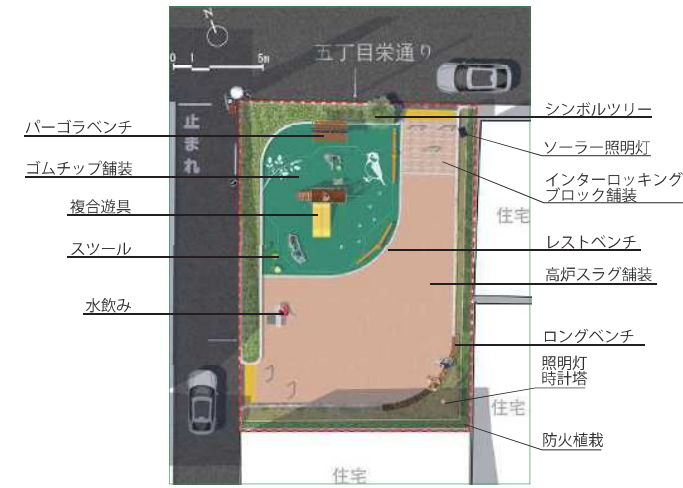
テーマ：元気に遊び、楽しく集う公園

コンセプト：みんなが安心できる楽しい公園に

- ・飛び出し防止などの安全対策が施された空間
- ・遊びがいのある遊具を配置した楽しく過ごせる空間
- ・見るだけでも楽しめる施設

計画のポイント

- ・遊びの度合いが大きいプラン
- ・遊びに重きを置いた計画とするが、まとまった広場も確保
- ・数人で遊べる複合遊具などを配置する
- ・楽しい雰囲気を感じるようなかわいらしいスツールなどを配置する
- ・透水性や温度上昇を抑える機能のある高炉スラグ舗装を採用



第二回検討会であげられた意見要望

	よいところ	よくないところ
計画案①～③ 共通	ソーラーパネルがよい	出入口が危ない(飛び出し防止) かまどベンチがほしい 近隣に遊具があるので遊具はなくてもよい 樹木の維持管理(害虫や落ち葉) 静かに休める場所にしたい
計画案①	スペースがあってよい・広場が広い 木陰があってよい 遊びと休憩のバランスがとれている 曲線が多く、デザインがかわいい 車いすに配慮している カーブベンチがよい	デザインより広く使えることを重視したい 丸い植栽帯はいらない 樹木は中央部を避けてほしい
計画案②	スペースがすっきりしている 大きく広場が使える	スツールや植え込み、遊具の位置は要検討 広場が狭く感じる
計画案③	生垣、植栽、広場がすっきりしている 広場が広く防災訓練がしやすい	ベンチの位置や数を再検討 遊具は案①のもの(幼児用遊具)にしてほしい

その他の質問・ご要望

- ・五丁目栄通りは交通量が多いため、子どもの遊び場とすると事故などが心配。
- ・子どもと利用したいというアンケート結果があるので遊び場は必須だと思う。
- ・全体的に防犯の観点を大事にしてほしい。フェンスをつけるならカメラを設置してほしい。
- ・買い物帰りなど、付近には休む場所がないので、一息つけるような場所にしてほしい。
- ・水飲みは、出しっ放しや水遊び・いたずらなどをしにくいものにしてほしい。
- ・清潔で静かで洗練されたコンセプトにしてほしい。



計画平面図案

プラン①をベースに
利便性や安全安心、
防災機能を強化しました

乳幼児でも利用しやすい遊具や、やわらかい舗装

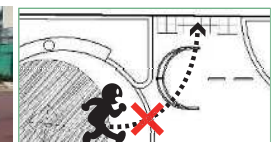
親の目が届きやすい配置

※北側区道（本町五丁目栄通り商店街道路）に、
R7「安全安心の道路交通対策工事」にて
「飛び出し注意」等の路面表示、
道路管理所管にて巻き看板を設置予定です



視認性の確保

ユニバーサル車止めによる飛び出し防止



ユニバーサル車止めの配置を工夫し、
遊び場からの飛び出しを抑止しながら
車いすやベビーカーの通路を確保します

ユニバーサル車止め

防災に資する施設の導入

かまどを収納したベンチや
防災マップ・タイムライン
を掲示し、普段の利用もし
ながら非常時に備えます



かまど収納ベンチ

防災マップ

防火植栽

美観や管理のしやすさ、対候性等も
考慮した、火災に強い樹木



一人静かに落ち着ける憩いの空間

車いすの方も同じ視線の高さで楽しめる花壇

防災に資する施設の導入



ソーラー照明灯 (充電スポット付)

心地よく過ごせる木陰



木陰下のベンチ

季節を感じる植栽



季節ごとに咲く花や、年間を通して色の美しいカラーリーフなど

滑り止めや透水・遮熱機能のある舗装

町会のイベントに対応できる広場

